

科目名	地域整備学 Local Planning			担当教員	宮崎 耕輔		
学 年	5 年	学 期	後期	履修条件	必修	単位数	1
分 野	専門	授業形式	講義, 演習	科目番号	17134037	単位区分	履修単位
学習目標	4 年時に習得した計画学基礎の知識をベースにして, 下位計画となる交通計画に関する基礎知識を修得する. 香川県ならびに四国地域内におけるまちづくりに関する取り組みについて, 修得する.						
進め方	前半は, 教科書をベースに, スライドなどを用いて講義を行い, 適宜, 演習を交えながら授業を進める. 後半は, 外部講師による講演を主体とし, 毎回レポートを課す.						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	1. はじめに(1) (1) 授業の進め方 (2) 交通計画の位置づけ (3) 四国地域を取り巻く環境など 2. 道路計画(14) (1) 交通工学の意義と目的 (2) 交通調査 (3) トリップベースの交通需要分析 (4) 交通行動分析			(5) 交通量調査と交通実態調査について理解している。 (6) 交通需要推計について理解している。 (7) 道路網整備：道路の機能と段階構成について理解している。 (8) 交通流、交通量の特性、交通容量について理解している。 (9) パーソントリップ調査について理解している。 (10) 四段階推計法について理解している。 (B-2)			
	[後期中間試験] (2)						
	3. 四国地域におけるまちづくりの取組み(13) 四国地域の取組みについて, 外部講師による講演 以下を予定. 講演内容は変更になる可能性がある. (1) 四国旅客鉄道株式会社による鉄道整備について (2) 香川県都市計画課による香川県の都市計画について (3) 高松市都市計画課による高松市の都市計画について			(1) 理解できた情報を説明することができる。 (B-2)			
評価方法	・各期の成績は, 前半分の確認としての定期試験を 50%, 後半分のレポートなどを 50%で評価する。 ・項目 2～3 の重みは, それぞれ 50%, 50%とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	計画学基礎 (4 年) → 地域整備学 (5 年)						
教 材	教科書：大橋健一他(2009)：交通システム工学，コロナ社						
備 考							